

ご使用に際して、この説明文書を必ずお読みください。また、必要な時に読めるよう大切に保存してください。



全量噴射式
エアゾール殺虫剤
(1回使い切りタイプ)

レック株式会社
〒104-0031
東京都中央区京橋2-1-3 京橋トラストタワー
お問合せ先
お買い求めのお店又は下記にお問合せください
レック株式会社 消費者サービス部
03-6661-9941 受付時間 平日9:00~16:00
https://www.varsan.jp/

本品の特長

- フイックレバーで簡単スタート
- ミクロの霧でスミズミまでよく効く
- 3つの有効成分配合

添付文書

火気厳禁
警報器に覆いをした場合は必ず取り外す

使い方

販売名: 霧のバルサンa **第2類医薬品**

この説明文書をよく読み、定められた使用方法を守ってお使いください。間違った使い方をするとう効力不足や健康を損ねることがあります。

注意-人体に使用しないこと

有効成分

46.5gの場合	93gの場合
メトキサジアゾン……………1g	メトキサジアゾン……………2g
フェントリン……………0.5g	フェントリン……………1g
d・d-T-シフェントリン ……0.13g	d・d-T-シフェントリン ……0.26g
添加物として 炭酸プロピレン、エタノール、香料、DME	

包装 46.5g、93g

効能

ゴキブリ、イエダニ、ノミ、トコジラミ(ナシキンムシ)、屋内塵性ダニ類の駆除

使用量

内容量	使用量	噴射時間
46.5g	6~10畳(10~17m ²)に1個	約1分半
93g	12~20畳(20~33m ²)に1個	約3分

使用上の注意

してはいけないこと (守らないと副作用・事故などが起こりやすくなります。)

- ① 病人、妊婦、小児は薬剤(霧)に触れないようにしてください。
- ② 人体に向けて噴射しないでください。霧を直接吸入しないでください。万一吸い込んだ場合、咳き込み、のど痛、頭痛、気分不快等を生じることがあります。
- ③ 退出後、必ず1時間以上経過してから入室してください。換気のために入室する際、刺激に敏感な方は薬剤を吸い込むと咳き込み、呼吸が苦しくなることがあります。必ず、タオルなどで口や鼻を押さえて薬剤を吸い込まないようにしてください。
- ④ 霧が出始めたら部屋の外に出て、所定時間(1時間)以上経過しないうちに入室しないでください。霧が流入する可能性があるため、密閉性の低い隣室にはいないようにしてください。
- ⑤ 使用後には十分に換気してから中に入ってください。
- ⑥ 本品の噴射時にくん煙剤を同じ部屋で同時使用しないでください。引火、爆発のおそれがあります。
- ⑦ マッチやライターなどで火をつけないでください。

相談すること

- ① 霧を吸って万一身体に異常を感じたときは、できるだけこの説明文書を持って直ちに本品がオキサジアゾール系殺虫剤とピレスロイド系殺虫剤の混合剤であることを医師に告げて、診療を受けてください。
- ② 今までに薬や化粧品等によるアレルギー症状(発疹・発赤、かゆみ、かぶれなど)を起こしたことがある人は、使用前に医師又は薬剤師に相談してください。

その他の注意

- ① 定められた使用方法、使用量を厳守してください。
- ② 本品は可燃性ガスを使用しているため、火気には充分注意し、ガス湯沸器や内釜式浴槽の種火、ヒーター等は必ず消し、ガスの元栓は閉めてください。
- ③ 集合住宅等の集中管理方式のガス警報器の場合は、住宅管理者に連絡して使用してください。また、ガス警報器は噴射ガスに反応することがあります。警報器に覆いなどをした場合には、絶対にとり忘れないようにして、必ず元に戻してください。
- ④ 食品、食器、おもちゃ、飼料、寝具、衣類、貴金属、仏壇仏具、美術品、楽器、書物、はく製、毛皮、光学機器などに直接霧が触れないようにしてください。また、ペット、観賞魚、植物は部屋の外に出してください。
- ⑤ 精密機器(テレビ、パソコン、オーディオ製品、ゲーム機など)にはカバーをかけ、ブルーレイディスク、DVD、CD、MD、フロッピーディスク、磁気テープなどは直接霧に触れるとまれに障害を起こすことがあるので、専用ケースに収納してください。大型コンピュータのある所では使用しないでください。
- ⑥ プラスチック製品や家具等は直接霧がかかるとシミや変色の原因となるため、本品から1.5m以上離すか、ビニールシート、新聞紙等で全体を覆ってください。
- ⑦ 本品は床面中央に置き、必ず立てた状態で使用してください。
- ⑧ ボタンを押すと同時に上方へ薬剤が噴射するので、顔を近づけないように注意してください。
- ⑨ 皮膚に対して弱い刺激性があるので、薬剤が皮膚についた場合は石けんと水で十分に洗ってください。また、目に入った場合は直ちに水でよく洗い流してください。
- ⑩ 食器等に直接薬剤がかかった場合は水で洗い流してから使用してください。
- ⑪ 自動車内では使用しないでください。

閉める



保管及び取扱い上の注意

- ① 飲食物、食器及び飼料などと区別し、火気や直射日光を避け、小児の手の届かない温度の低い場所に保管してください。
- ② 缶が錆びるとガス漏れの原因となるので、水回りや湿気の多い場所に置かないでください。
- ③ 暖房器具(ファンヒーター等)の周囲は、温度が上がり破裂する危険があるので置かないでください。
- ④ 捨てる際には、火気のない戸外でボタンを押してガスが抜けていることを確認してください。
- ⑤ 使用後の容器は、各自治体の廃棄方法に従って捨ててください。

使用方法 必ずご使用前にお読みください

バルサンWebサイト

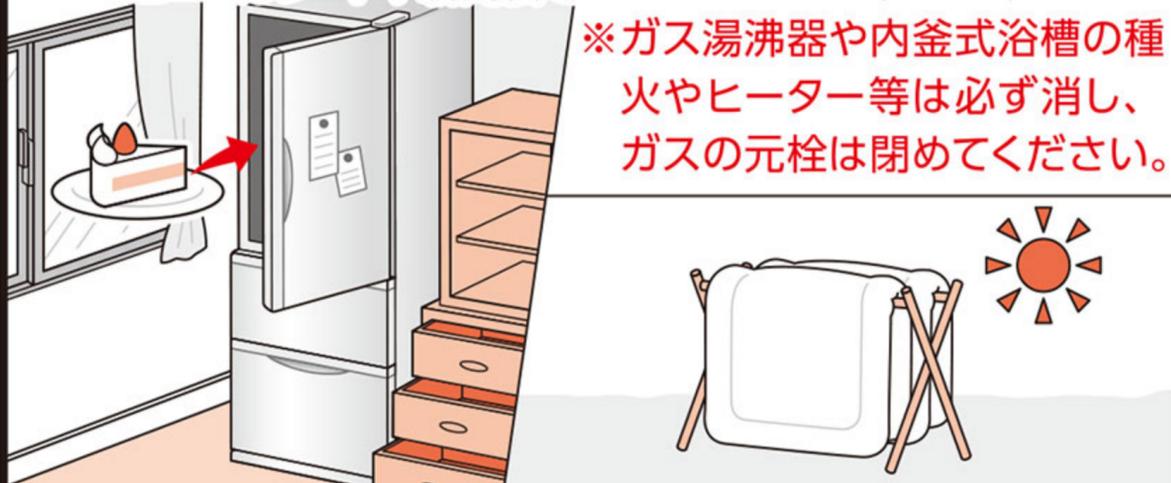
「使用方法」やQ&A
などが掲載されて
います。



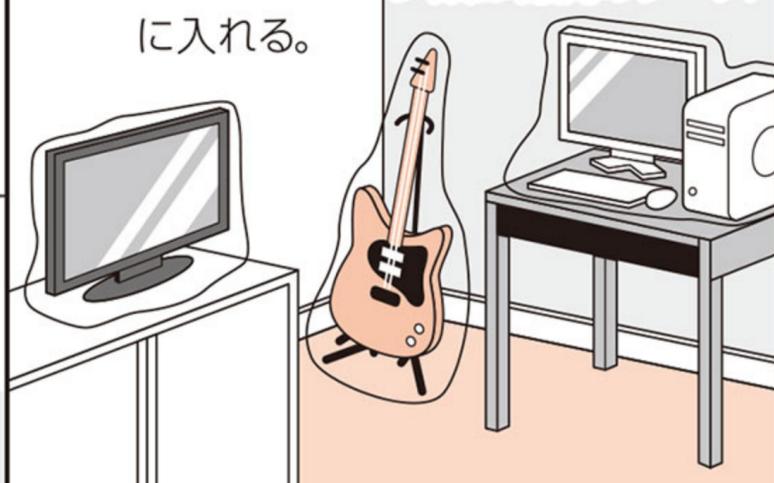
使用前に準備すること

1 部屋(窓や換気口など)を閉め切り、害虫の隠れ場所となる戸棚、引き出し、押入れなどを開放する。なお、食品、食器、おもちゃ、寝具、衣類、仏壇仏具などは直接霧が触れないように、ビニールシートや新聞紙でカバーをするか、部屋の外に出す。

※ガス湯沸器や内釜式浴槽の種火やヒーター等は必ず消し、ガスの元栓は閉めてください。



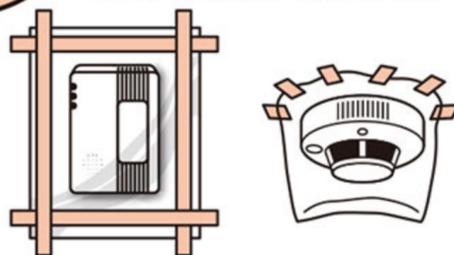
2 霧が触れないようにテレビ、パソコン、オーディオ製品などの精密機器やピアノなどの楽器にはカバーをする。ディスクやテープ類は付属のケースに入れる。



3 ペット類や観賞魚、水生生物、植物などは部屋の外に出す。



4 ガス警報器、ガスと火災の両方を感知する複合型警報器には反応することがあるので、袋などで覆う。



ガス警報器、複合型警報器の取扱いについては、付属の説明書をよく読みご使用ください。

使用後は必ず元に戻してください

ガスを感知する警報器の見分け方

交換期限表示ラベル



「交換期限表示ラベル」がある警報器はガスを感知するタイプです。

本品を使用する

1 赤いレバーを手前に起こし、**火災警報器に直接かからない方向に噴射口を向け床面のほぼ中央に置く。**



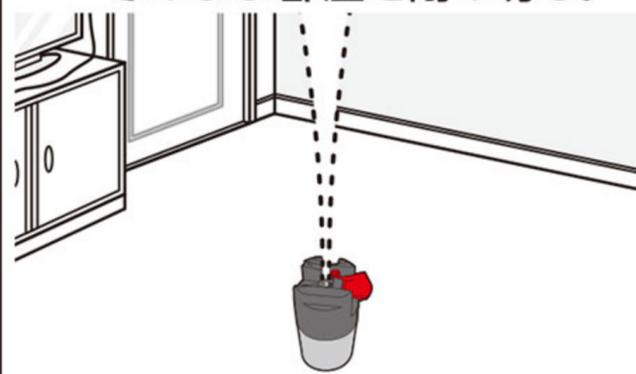
※容器を横倒しに置いたり、手に持って使用しないでください。

2 赤いレバーを指でカチッと音が出るまで押し込む。



- 噴射口の向きに注意。
- 顔を近づけない。
- 持ち上げない。
- マッチやライターなどを使用しない。

3 霧が出始めたら部屋の外に出て、1時間またはそれ以上、そのまま部屋を閉め切る。



使用後に行うこと

- ① 所定時間部屋を閉め切った後、霧を吸い込まないようにして窓や扉を開放し、十分に換気してから中に入る。
- ② 部屋の床は駆除した害虫を除去するため、掃除機をかける。
- ③ 食器などが霧に触れた場合は、水洗いしてから使う。
- ④ 使用後の容器は、各自治体の廃棄方法に従って捨てる。

※屋内塵性ダニ類は死骸もアレルギーの原因になると言われています。
バルサンをした後、畳・カーペットのダニは掃除機をかけ取り除きましょう。
寝具類のダニ退治には、天日干し後、入念に掃除機をかけるか、クリーニングをおすすめします。

お部屋を閉め切る時間

ゴキブリ、イエダニ、ノミ、トコジラミ(ナンキンムシ)、屋内塵性ダニ類の駆除

1時間
または
それ以上